

三重混声合唱団あんだあれ70

2012年4月14日発足。合唱団活動を通じて、音楽を楽しみ、技術の向上と団員相互の親睦を図るとともに地域の音楽文化振興にも貢献できるよう積極的な活動を続ける。

馬場浩子率いる海外演奏会では主幹事団体として有志と共に実施。2016年8月ウィーン国立歌劇場での東日本大震災復興支援コンサート及びシュテファン大聖堂での奉納演奏、2019年8月イタリア・パチカン市国スティーナ礼拝堂及びサン・ピエトロ大聖堂、アッシジ・サン・フランチェスコ大聖堂での地元聖歌隊と共演。

また、四日市市民合唱祭の他、三重オペラ協会主催オペラ「カルメン」、四日市市文化まちづくり財団主催オペラ「おしち」の合唱隊、クラシック音楽祭みえ、CTYミュージックJJへのTV日野原重明講演会、カルチャー三浜文化会館記念行事等に出演。

2023年10周年記念演奏会を開き、2024年5月第74回四日市市民芸術文化祭主管として演奏会を開いた。昨年、本年と国際シニア合唱祭ゴールデンウェーブ in 横浜に参加。



馬場浩子
— 指揮 —

武蔵野音楽大学声楽科卒業。2007年三重県文化奨励賞受賞。

「あまんじゃくとりこひめ(あまんじゃく)でオペラ歌手としてデビュー。「蝶々夫人(蝶々さん)、「夕鶴(つう)、「フィガロの結婚(伯爵夫人)、「Don Giovanni(ドンナ・エルヴィーラ)、「こうもり(ロザリンデ)、「メリーウィドウ(ハンナ)等多数出演。

リサイタルの他、「第九(ベートヴェン)、「レクイエム(モーツァルト)、「交響曲第8番(マーラー)等のソリストとしても活躍。

ザルツブルグ・モーツァルトウム大ホール、北京・海城劇場での親善公演にソプラノソリストとして出演。

2011年からは合唱指揮・指導者として活動の場を広げる。あんだあれ70では2012年の創立時から音楽監督・指揮を務めている。

イタリア、オーストリアへの海外公演や故・日野原重明氏との共演、オペラ「おしち(池辺晋一郎作曲)の合唱指導・音楽アドバイザー等活動は多岐にわたる。また、音楽企画・制作面での手腕も発揮、オペラ制作、コンサート企画・プロデュース等多数手がけている。

国際声楽コンクール東京、クラシック音楽コンクール、全日本合唱連盟コンクール、岐阜国際コンクール等の審査員、文化庁「子どものための育成事業」講師、熟年大学講師等社会活動も精力的にこなす。

三重混声合唱団あんだあれ70指揮者・音楽監督、女声アンサンブルMarimo座主宰。

津女声合唱団指揮者、「四日市の第九」合唱指導・音楽監督、「こまき第九」合唱指導者。

これまで三重大学教育学部、金城学院大学の非常勤講師、名古屋芸術大学客員教授として後進の指導にあたってきた。

現在、名古屋芸術大学芸術学部芸術学科音楽領域教授。日本演奏連盟会員。



星合智美
— ピアノ —

三重大学教育学部音楽教育卒業。同大学大学院修了。

津市文化奨励賞受賞(2015)。

リサイタル(2016年)を津で開催。アンサンブルコンサート、ジョイントリサイタル、音楽と詩や物語のコラボ作品の演奏会などを企画開催。また、多数の声楽や合唱の演奏会、オペラ公演などでピアノを担当している。

(故)中尾さゆみ、山村美知子、兼重直文、高瀬瑛子の各氏に師事。

現在、高田短期大学非常勤講師。

津女声合唱団、三重混声合唱団あんだあれ70、アンサンブルLaFata専属ピアニスト。三重新音楽家協会、ピアノ音楽研究会、彩の会の各会員。



秀平雄二
— ピアノ —

名古屋芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科を理事長賞を得て首席修了。

日本ピアノ教育連盟オーディション全国大会において最優秀奏者に選出され萩原和子賞を受賞。他5つのコンクールで第1位。岐阜県知事賞、クオリア音楽大賞、山田貞夫音楽財団音楽賞特選受賞。ソリストとして国内外のオーケストラと共演を重ねる他、アンサンブルピアニストとしても多くのアーティストから信頼を得ており、中井亮一氏と共演したCDはレコード芸術誌において準特選盤に選定されている。長江杯優秀伴奏者賞受賞。国際声楽コンクール東京、みえ音楽コンクール公式伴奏者。女声アンサンブルMarimo座、三重混声合唱団あんだあれ70専属ピアニスト。名古屋芸術大学非常勤講師。



勝野明子
— ミュージックコーチ —

名古屋音楽大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻修了。三重県新人演奏会、みえ新進音楽家演奏会に出演、三重・愛知にて「フィガロの結婚(ケルビーノ)」「電話(ルーシー)」「カルメン(フラスキータ)他、多数のオペラや「レクイエム(モーツァルト)」「メサイア(ヘンデル)のソプラノソリストとして出演。

四日市市文化まちづくり財団主催・学び舎音楽会、音楽・夢企画コンサート等各種演奏会コンサートに多数出演。三重オペラ協会演奏会会員。四日市メモリアル学院聖歌隊アメージンググレイス指揮者、毎年同学院聖歌隊チャリティーコンサートを六華苑やポートビル、近鉄百貨店などで行っている。



菊池京子
— ミュージックコーチ —

名古屋芸術大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。

オペラでは「椿姫(抜粋)ヴィオレッタ、「フィガロの結婚(ケルビーノ)、「魔笛(ダーメ)、「蝶々夫人(タイトルロール)等幅広いレパートリーで好評を得る。ベートーヴェン「第九」ソロやミサ、オラトリオ等オーケストラとの共演も多数。2018年福沢ワンコインスペシャルコンサートにて、「フォーレ・レクイエム」ソプラノソリストとしてセントラル愛知交響楽団と共演。同年、ソロリサイタルを開催。女声アンサンブルMarimo座、名古屋芸術大学ハルモニア合唱団に所属。



倉本亜紗
— ミュージックコーチ —

名古屋芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。オペラ「カルメン(フラスキータ)」「不思議の国アリス(姉・ユリの花)」「あまんじゃくとりこひめ(うりこひめ)」「いのち(奈々子)」「人魚姫(人魚姫)」、オペレッタ「こうもり(アデーレ)」、第九(ソプラノソロ)等」に出演。第17回みえ音楽コンクール声楽部門一般の部第1位および三重県知事賞受賞。第42回イタリア声楽コンクール入選。三重オペラ協会、東紀州演奏家協会「波」、女声アンサンブルMarimo座、各会員。



女声アンサンブルMarimo座

名古屋芸術大学卒業生を中心に構成されているクラシック歌手(声楽家)のグループ。個々ではリサイタルやオペラ出演等、活発なソロ活動を展開している。2010年に女声アンサンブルMarimo座として活動開始。

東海地方を中心に美しい女声アンサンブルで聴く人を魅了している。レパートリーはミサ等の宗教曲からオペラ・オペレッタ・邦人作品の合唱曲等幅広く、歌って踊れる稀有な存在として注目を浴びている。

現在メンバーは主宰馬場浩子と16名。専属ピアニスト秀平雄二。